

商品番号 : CP-291

## ビデオスケーラー(アナログ RGB 信号⇔コンポーネントビデオ信号 スキャンコンバータ(映像信号変換器))



### 【はじめに】

- 本製品をご使用になる前に、必ずこのマニュアルをよくお読みください。
- 本書の内容を許可なく転載することを禁じます。
- 本書の内容についてのご質問や、お気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがございますのでご了承ください。
- 本書に記載している図などは実際のものとは異なる場合があります。

### 【概要】

CP-291 は、アナログ RGB 映像信号をコンポーネントビデオ信号に、またコンポーネントビデオ信号をアナログ RGB 信号に相互変換可能なビデオスケーラーです。

最大で 1080p、または WUXGA(1920×1200)までのアナログ RGB 信号およびコンポーネントビデオ信号を入力でき、同様に 480i から 1080p までの HDTV 向け解像度、および WUXGA までの PC 向け解像度のアナログ RGB、またはコンポーネントビデオ映像に変換し出力します。

アップスキャン/ダウンスキャンや色合いやアスペクト比調整など、様々な画像調整機能を自在にお使いいただけます。

アナログ RGB を備えたパソコンからの映像を液晶テレビ等で使用する際や、コンポーネントビデオ信号をパソコン向けの液晶ディスプレイに表示させたい場合などに便利です。

高画質高精細の映像信号を要する、プロフェッショナル向け用途や大画面テレビでの使用や、大型液晶テレビをパソコンのディスプレイ用途に使用する際などに最適です。

### 【特徴】

- アナログ RGB、およびコンポーネント映像信号を、コンポーネント、アナログ RGB 映像

信号へ相互変換します。アナログ RGB→コンポーネント、またはコンポーネント→アナログ RGB 変換のどちらにもご利用いただけます。

- SXGA、UXGA、WUXGA といったパソコン用の解像度を、720P、1080i、1080p などの HDTV 向け解像度に変換し、液晶テレビなどに表示することが出来ます。
- HDTV 向け解像度は 50Hz、60Hz どちらのリフレッシュレートでも出力可能。  
※480i は 30×2 (NTSC 相当)、576i では 25×2 (PAL 相当) となります。
- D 端子-RCA メス×3 中継・変換ケーブルを併用することで、D 端子映像の入出力にも対応可能です。
- 入力されたソース信号を検出し、カラーモードや解像度を自動判別。
- Bypass ポートを装備し、本機から変換前のソース信号を出力可能。
- さらに、PC 向け、HDTV 向け各種出力解像度を、OSD メニューから簡単に選択できます。
- 画像品質をきめ細かく調整するための OSD メニューを装備。
- ドライブソフトウェア不要で、プラグアンドプレイによる簡単なインストールです。

## 【仕様】

型番	CP-291
入力端子	DsubHD15 ピン×1
Bypass 端子	DsubHD15 ピン×1
出力端子	DsubHD15 ピン×1
対応出力映像規格	アナログ RGB、コンポーネントビデオ (YPbPr)
対応解像度 (入出力ともに)	コンポーネントビデオ (YPbPr) の場合： 480i (30 フレーム/秒)、576i (25 フレーム/秒)、 480P、576P、720P、1080i、1080P@50/60Hz アナログ RGB の場合： VGA (640×480)@60/72/75/85Hz SVGA (800×600)@60/72/75/85Hz XGA (1024×768)@60/70/75/85Hz SXGA (1280×1024)@60/75/85Hz UXGA (1600×1200)@60Hz WXGA (1280×768)@60Hz WSXGA (1680×1050)@60Hz WUXGA (1920×1200)@60Hz
電源 (付属 AC アダプタ)	出力:DC5V 2.6A 入力:AC100V
動作温度範囲	0°C~48°C
保存温度範囲	-40°C~85°C
寸法 (W x D x H mm)	157 x 102 x 25
本体重量	332g

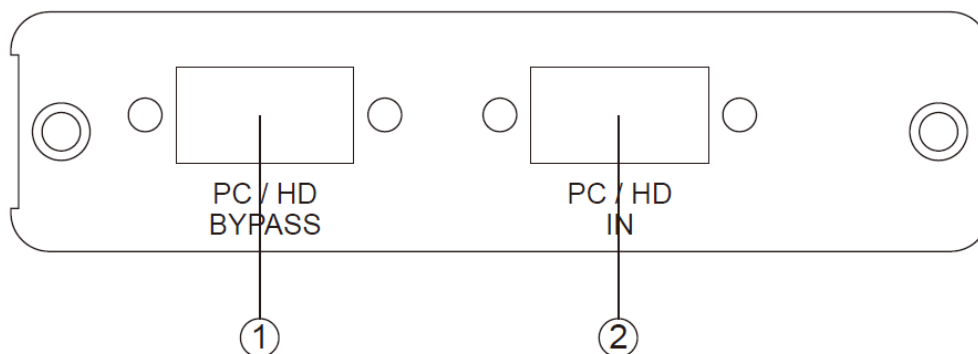
梱包内容	CP-291 本体 x1、 アナログ RGB ケーブル(DsubHD15 ピンオス→ DsubHD15 ピンオス)1.2m x 1 DsubHD15ピンオス→RCA プラグ x3 変換ケーブル(コ ンポーネントビデオ映像入出力用)1m x 1 AC アダプター x1、英文マニュアル
------	--

## 【接続方法】

- ① 接続する前に、接続するすべての機器の電源を OFF にしてください。
- ② 接続するソース機器(パソコン、DVD プレイヤーなど)と本機の入力側ポートを、DsubHD15 ピンオスのアナログ RGB ケーブル(コンポーネントビデオ→アナログ RGB 変換時)または付属の DsubHD15 ピンオス→RCA プラグ x3 変換ケーブル(アナログ RGB→コンポーネントビデオ変換時)で接続してください。
- ③ 接続するディスプレイ機器(液晶テレビ・液晶ディスプレイ等)と本機の出側ポートを DsubHD15 ピンオスのアナログ RGB ケーブル(コンポーネントビデオ→アナログ RGB 変換時)または付属の DsubHD15 ピンオス→RCA プラグ x3 変換ケーブル(アナログ RGB→コンポーネントビデオ変換時)で接続してください。
- ④ 付属の AC アダプターを接続してください。
- ⑤ ディスプレイ機器に画像が表示されない場合、出力映像の設定をリセットしてください。  
 MENU ボタンを押したまま同時に-ボタンを押すと 480i のコンポーネント映像信号が、  
 MENU ボタンと+ボタンを同時に押すと XGA(1024 x 768)のアナログ RGB 映像信号が出力  
 されます。

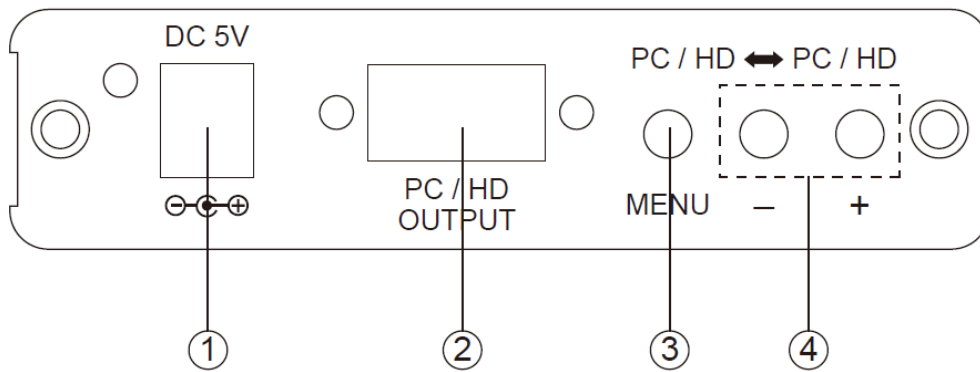
## 【外形図】

前面



- ① PC/HD BYPASS: パソコンや DVD プレイヤー等のソース機器からの映像信号を、変換せずそのまま出力する DsubHD15 ピン端子です。ソース映像の確認等に使用します。
- ② PC/HD INPUT: 映像信号の入力に使用する DsubHD15 ピン端子です。

後面



- ① 電源入力ポート:DC 5V 2.6A 電源アダプターを接続します。
- ② PC/HD OUTPUT:変換された映像信号の出力に使用する DsubHD15 ピン端子です。
- ③ MENU:このボタンには 2 つの目的があります。
  1. このボタンを押すと、「OSD 操作」(9 ページ)に示されている OSD メインメニューが表示されます。
  2. サブメニューを表示したり、選択したパラメータの設定値を調整するための「ENTER」キーとして動作します。
- ④ +/-ボタン:これらのボタンには以下の機能があります。
  1. OSD メニューモード時: +ボタンと-ボタンを押して、画面に表示されるハイライトバーを上下に移動し、項目を選択します。
  2. MENU ボタンで項目を選択してから、選択したパラメータの設定値を調整します。
  3. OSD メニューを表示しない状態で-ボタンを押すと、画面表示位置を自動調整します(この間画面には”AUTO-ADJUST“と表示されます)。映像変換後の表示位置が大きくなる場合などにご使用ください。

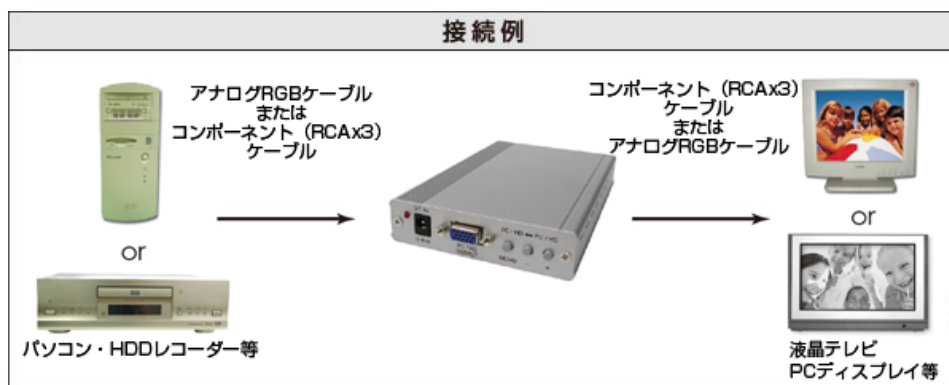
### 【出力映像設定のリセット】

本体の MENU と +/- ボタンを組み合わせることで、480i、または XGA(1024×768)@60Hz に出力映像をリセットすることが可能です。

出力映像を 480i にリセットする場合は、MENU ボタンを押した状態で、-ボタンを 2～3 秒間同時に押し続けます。

出力映像を XGA(1024×768)@60Hz にリセットする場合は、MENU ボタンを押した状態で、+ボタンを 2～3 秒間同時に押し続けます。

## 【接続例】



### 【接続ケーブルについて】

#### <アナログ RGB の入出力>

弊社のアナログ RGB ケーブル EDIS-HD15MM-xxx または EDIS-SHD15MM-xx をご利用ください。

#### <コンポーネントビデオの入出力>

付属の DsubHD15 ピンオス-RCA オス×3 変換ケーブル(コンポーネントビデオ映像入出力用)、または HD15pin オス-RCA メス×3 中継・変換ケーブル ADC-HD15M-3RCAF-150 をご利用ください。

※RCA コネクタ×3 のコンポーネントビデオ信号を、D 端子に変換してご利用いただけます。その場合には上記の変換ケーブルに、さらに D 端子-RCA メス×3 中継・変換ケーブル VD-D3RF-150 を取り付けてご使用ください。

## 【OSD メニューの説明と操作方法】

本機の電源が入った状態で MENU ボタンを押すと、次のようなメインメニューが表示されます。また、+/- ボタンを使用して、反転する文字を目的の項目に移動してから、MENU を押すと、選択した項目のサブメニューが表示されます。

### <Contrast>

映像のコントラストを調整します。

### <Brightness>

映像の明るさを調整します。

### <Finetune>

- Hue: 映像の色相を調整します。
- Saturation: 映像の彩度を調整します。

- Sharpness: 画像にシャープネスをかけ、輪郭を強調します。

#### <Color>

- RED: 映像の赤要素を調整します。
- BLUE: 映像の青要素を調整します。
- GREEN: 映像の緑要素を調整します。
- EXIT: サブメニューを抜け、メインメニューへ戻ります。

#### <Size>

映像のスケールリングを選択します。

- Full: 入力された映像をそのままディスプレイ機器の表示領域いっぱいまで広げて表示します。4:3 で入力された画像を 16:9 の画面に表示させると、被写体などがやや横に広がって見えます。
- Overscan: 実際の画面サイズよりも表示領域を大きくし、画面いっぱいまで広げます(画像が多少切り取られます)
- Underscan: 表示領域に画像全体がおさまるよう表示します。古いブラウン管型テレビなどでは、周囲に黒く何も表示されない領域があらわれることもあります。
- Letterbox: 上下に黒い領域(レターボックス)が表示され、従来のタテヨコ比 4:3 の画面で 16:9 のワイド映像を表示するときなどに使用します。
- Panscan: 16:9 など、ワイド映像の左右を切り取り、4:3 の領域におさまるよう表示します。

#### <Output>

ディスプレイ機器に出力する映像の解像度を設定します。出力可能解像度については仕様欄をご参照下さい。

#### <OSD Adjust>

OSD メニューの位置や外観などを設定します。

- H.Position: OSD メニューの水平位置を調整します。
- V.Position: OSD メニューの垂直位置を調整します。
- Time out: 画面上の OSD メニューを操作しない状態で、自動的に消えるまでの時間を設定します。
- Background: OSD メニューの背景を透明にするか、無地にするかを選択します。
- EXIT: サブメニューを抜け、メインメニューへ戻ります。

#### <Information>

- Source: 入力中の映像／音声信号のソースを表示します。
- Input: 現在の入力解像度を表示します。
- Output: 現在の出力解像度を表示します。
- Version: ファームウェアのバージョンを表示します。

## 【使用上の注意事項】

- 本製品は映像のみの変換を行います。音声の変換は行うことができません。
- 本機はモノクロ映像信号の入出力には対応しておりません。
- シンクオングリーン方式のアナログ RGB 信号入出力には対応しておりません。
- 本機は映像信号の劣化を補正する機能を有しておりますが、本機を使用せずパソコンとモニターを直接接続した場合の画像ほどの映像品質にはならないことを、予めご了承ください。
- 本機には、接続されたディスプレイ機器を自動判別する機能はありません。
- パソコン他の映像機器からの入力信号の特性や、表示するディスプレイの感度によって画像の劣化や表示不良を生じる可能性があります。
- さらに、映像信号の劣化(画面のちらつきや色のにじみや明瞭感や透明感の劣化など)は、使用するケーブルのグレードや使用環境、およびパソコンや DVD プレーヤーやディスプレイなどの機器の性能/仕様/機能などによっても大きく異なりますので、本機を使用しない場合(信号を変換しない場合)と同等の状態を表示することはできない場合があります。以上から、本機を使用したことによる映像信号の劣化については動作保証の対象外とさせていただきます。
- 入力機器(例えば PC モニタ)の対応解像度やリフレッシュレートが、上記仕様に記載の解像度やリフレッシュレートに対応していることを必ずご確認ください。入力機器の対応解像度とリフレッシュレートが本機で対応可能なものでない場合は、本機を使用しても正常に表示することはできません。
- 映像信号の劣化やゴーストの発生は使用するケーブルのグレード(下記参照)や使用環境やパソコンおよびディスプレイの性能やカスケード接続の有無などにより大きく異なることがあり、延長・分配後の映像品質の劣化については動作保証対象外といたします。
- 本機を複数台カスケード接続(連結接続)して使用したり、自身の動作保証距離を超えるケーブルで接続する場合は、動作保証外とさせていただきます。
- 配線の途中に変換アダプターなど他の機器や部品を介しての接続に対しては、動作保証外とさせていただきます。
- 個別のパソコンや拡張ボード、AV 機器に対する適合性や互換性および相性などについては、サポート対象外とさせていただきます。
- 全ての映像機器への接続を保証するものではありません。機種により動作しないものもあります。

## 【安全にお使いいただくために】

※必ずお守りください。

**警告:** 下記の事項を守らないと火災や感電により、死亡や大けがの原因となることがあります。

- 分解・改造はしないでください。(火災・感電・故障のおそれがあります)  
※保証の対象外となります。
- 水などの液体に濡らさないでください。(火災・感電・故障のおそれがあります)
- 小さな子供のそばでは、本製品の取り外し、取り付けなどは行わないでください。(小さな部品を目に入れたり、誤飲する危険性があります)

**注意:下記の事項を守らないと、事故や他の機器に損害を与えたりすることがあります。**

- 取り付け、取り外しは慎重に行ってください。(機器の故障の原因となります)
- 次のような場所では使用しないでください。
  - ① 直射日光の当たる場所
  - ② 湿気や水分のある場所
  - ③ 傾斜のある不安定な場所
  - ④ 静電気の発生しやすい場所
  - ⑤ 通常の生活環境とは大きく異なる場所
- 長時間の使用後は本体が高温になる場合があります。取り扱いには十分ご注意ください。(火傷のおそれがあります)

#### お手入れについて

- 清掃するときは電源を必ず切った状態にしてください。
- 機器は柔らかい布等で拭いてください。
- シンナー・ベンジン・ワックス等は使用しないでください。

#### 【保証規定と免責規定】

下記に記載の無い内容は、弊社の保証規定に示す内容に準じた対応となります。

##### <保証期間>

納品書に記載の日付または弊社の商品出荷日より起算し、6ヶ月間とします。

##### <保証規定>

ご購入いただいた商品において、当社側の責めより当社納入商品に不具合が認められる場合、当社に対して不具合の詳細を記載した書面によるお申し出がなされ、当社が不具合と認めたことを条件として、その商品の当社出荷後 6ヶ月間に限り、その商品の不具合部分の一部または全部の交換または修理(無償)をさせていただきます。

ただし、以下の1~7に該当する場合には、保証対象から除外させていただきます。

なお、保証対象から除外された不具合に対する交換または修理については、全て有償となります。

##### ——保証の除外——

1. 「使用上の注意事項」に抵触または逸脱した条件および環境での取り扱いによる不具合など
2. お客様ご自身の修理や改造に起因する不具合など
3. お客様の不注意や間違った使い方による不具合など(ケーブルに勘合固定用ネジや固定用クランプ機構などが備わっている場合に、それを使用しないことで生じた不具合なども含まれます)
4. 商品本来の使い方以外の使用による不具合など
5. 地震、洪水、火災、公害などの自然災害や環境被害、および突発的または恒常的な高電圧・高電流の供給、その他当社商品以外の外部要因による不具合など
6. 商品出荷時点の知識や経験および想定していた使用方法などからは予見できなかった事由による不具合など
7. 少々へのこみやすり傷や汚れや印字文字の欠け・かすれ、およびお客様の嗜好との不一致(カタログや Web 上に記載の写真の色とは異なる印象など)など、電気的な性能に影響のない軽微な外観上の問題は不具合と認めていません。ただし電

氣的な性能に影響がなくとも、特に著しいと当社が認めた外観上の問題は不具合の範囲とします

## ＜免責規定＞

製造物責任法における製造業者の責任に定める義務以外の、当社商品に関連して発生した下記に示す障害や損害および損失については、当社は一切の責任を負わないものとし、かつお客様は当社に対し如何なる補償や賠償の請求権も有しないものとし、また、当社商品のご使用によって生じた損害の補償は、お客様がご購入された商品の代金を上限とさせていただきます。

1. 当社商品の使用により直接的または間接的に生じた外部に対する障害、損害、および損失
2. 当社商品が使用できないことにより直接的または間接的に生じた外部に対する障害、損害、および損失
3. 故意または過失、あるいは不可抗力によって生じた損害や損失
4. 第三者の所有する特許権や工業所有権、およびその他権利侵害に関わる障害や損害および損失
5. 輸出規制に起因する障害や損害および損失(海外への輸出はお客様責任で行っていただきます)

## 【修理について】

### ＜修理について＞

故障と考えられる現象が生じ、その症状が改善されない場合には、修理をご依頼ください。

保証期間中に保証規定に定める保証対象の適用内の故障が生じた場合の修理は無償修理、その他の機関や事由による修理は全て有償修理となります。

なお修理をご依頼いただく際には下記にご注意ください。

- 当社から商品を出荷する際に添付している納品書または仮納品書を必ずご用意ください。
- 納品書または仮納品書をご提示いただけない場合、および納品書または仮納品書に納品書番号の記載が無い場合は、無償修理とはなりませんのでご注意ください。
- 修理依頼に関わる商品運送中の故障や事故に関しては、当社はいかなる責任も負いません。予めご了承ください。
- 修理期間中の代替商品をご用意しておりませんので、予めご了承ください。